

平成28年度

幼児交通安全指導者研修会 報告

5月27日（金）滋賀県庁新館7階大会議室において、平成28年度幼児交通安全指導者研修会を開催しました。県内各市町から約100名（市町職員、幼稚園・保育園関係者、カンガルークラブ保護者、交通指導員等）の参加があり、熱心に受講されました。

滋賀県幼児交通安全功勞団体表彰



受賞団体

★マキノ東こども園カンガルークラブ

★大津北交通安全協会女性部木戸支部

受賞された団体の皆様は、運動会で交通安全をテーマとした競技を考案して実施する等参加体験型の交通安全指導や、寸劇などを通じて交通安全啓発活動を展開されたり、通学路での街頭立番をされたりと、熱心な交通安全教室を長年にわたり継続して展開されています。

**講演 「ヨーロッパの自転車教育から
見えてくる交通社会の未来」
～子どもたちは自転車から何を学ぶべきなのか～**
**講師 ウィーラースクールジャパン
代表 フラッキー中島 氏**

子どもたちに対して、日本で一番楽しい自転車教室を開催して、自転車の楽しさと危険を知り、その危険をいかに回避するかを身に付けさせ、活かしていく方法を指導していただきました。



フラッキー中島さんは京都生まれ。ベルギーから輸入した自転車教室「ウィーラースクール」をボランティアグループ「ウィーラースクールジャパン」の代表として全国で開催されています。

ブラッキー中島さんは意見交換会まで参加して下さり、身近な疑問など、直接話せたグループもありました。意見交換会は時間が足りなかったと感じたグループが多かったようです。



活動発表 幼児交通安全功労表彰団体

大津北交通安全協会女性部木戸支部



楽しい交通安全教室を長年にわたって行っておられます。身近な題材での寸劇の中で、実際に横断歩道の渡り方も体験できる工夫をされています。ぬいぐるみの交（こう）ちゃんや、着ぐるみのウサちゃんが登場するなど、盛りだくさんな発表をしていただきました。

参加者の皆様から・・・

- 自転車のルールやマナーを学ぶには、まず幼児期に自転車に親しみを持ち、楽しむことが大事なのだと分かった。なんでも大人が危険から守ってばかりではいけないと思った。
- 講演を聞いて、子ども達には、はじめに自転車の乗り方やルールをきっちりと身につけさせる事が大切だ、と思っていたが、楽しい事を知ることによって子ども達が自ら、乗り方やマナーを知ろうとするのだと気づかされた。子ども達が楽しく乗ることにより怪我などの経験を通して学ぶことが出来るよう、見守りながら関わって行きたいと思う。
- 大津北の寸劇は集団登校の様子が具体的で分かりやすかった。
- 実際に子どもを指導している人の話は分かりやすくて良かった。